

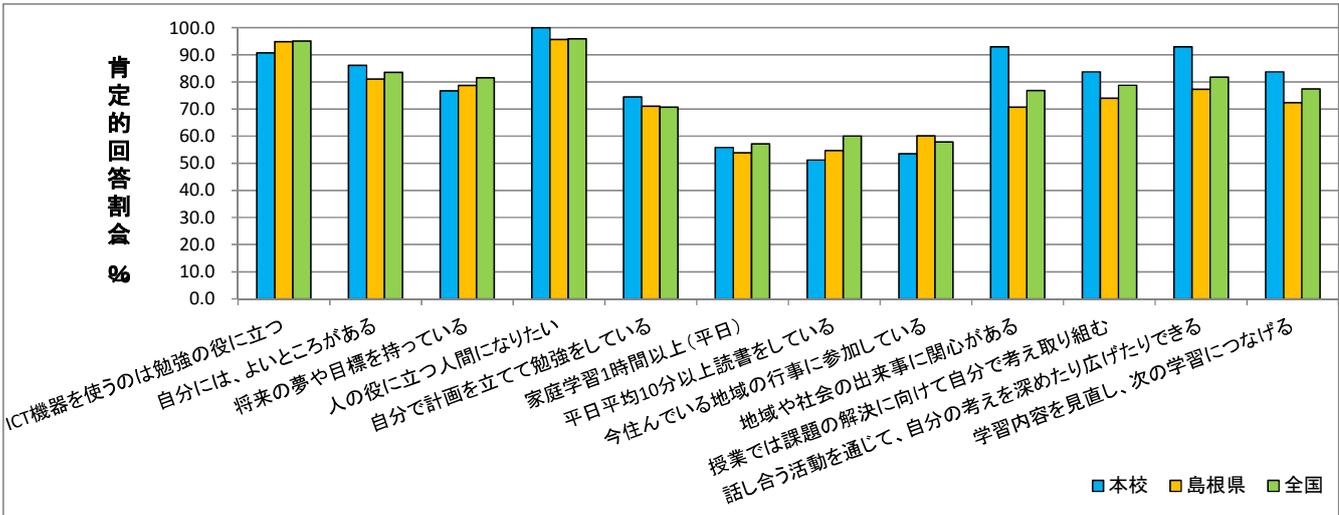
(1)学力調査結果から見られた傾向

	成果と課題(○:成果, ●:課題)	対策(・)
国語	○漢字は比較的書けており、定着している。 ○無回答の割合が低い。 ●最後まで問題文を読まずに解答している児童がいる。 ●資料の絵に引っ張られている。	・最後まで問題文を読み取るように、日頃から指導をしていく。 ・問題の本文のみを読むのではなく、資料の意図を考え、読み取る力をつけていく。
算数	○比較的全国と同じ傾向にある。 ○基本的な問いに対する正答率は比較的良好。 ●理由を説明する設問では、数式と説明文の両セットで解答することが不十分である。 ●割合では、基準量に対する割合と百分率の関係性の理解が不十分である。 ●長文読解に難がある。基本的なことを問われているにも拘わらず、問題の文章量に圧倒されたのか、問題に正対できていない。	・日々の授業では、説明する活動を大切に、数式と説明の文章をセットで説明していく力をつけていく。 ・学習習慣を深化し、複数の情報や考え方の比較・関連づけなど、グループや学級全体で考える場を大切にする。 ・単元開始前におけるレディネスの確認と単元ごとの習熟度の確認を行い、学習内容の定着を図る。

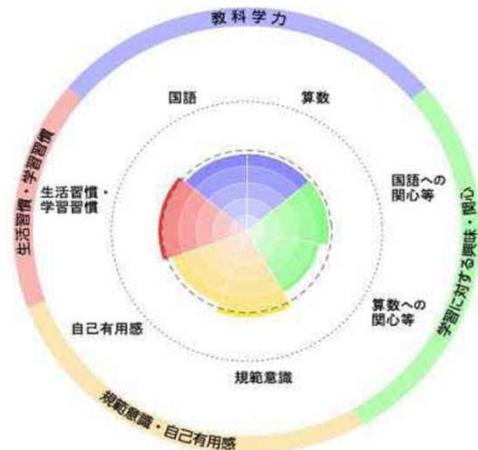
(2)児童質問紙調査から見られた傾向

	成果と課題(○:成果, ●:課題)	対策(・)
質問紙	○「いじめを許せない」「学校に行くのが楽しい」との回答が多い。 ○「学級会等の話し合いが楽しい」「違う意見について話し合うことが楽しい」と感じている児童が多い。 ○地域の活動に参加して、地域に誇りをもっている児童が多い。 ○外国語に対して、否定的なことを感じている児童が少ない。 ●国語の理解が低い。 ●読書をする児童が少ない。 ●自分にはよいところがあると思っている児童が少ない。	・国語については、音読をしっかりさせるなど、学力向上を目指した授業に改善していく。 ・読書については、学年に応じて、読み応えのある本を必ず借りるように声がけをしていく。 ・人権教育で取り組んでいる「ありがとうの実」の実践を継続的にを行い、自尊感情を育てていく。

(3)児童質問紙調査の結果より(学力との相関が指摘されているものや、教育委員会として注目しているものを挙げています。)



(4)学力・学習状況調査結果チャート(破線は全国平均)



(5)その他、今後特に力を入れて取り組むこと

・校内研究において、「友だちとかかわり、主体的に学ぶ子どもの育成～学び合いにより深まる授業づくりをめざして～」の研究主題に沿った授業実践を行う。  
 ・木曜日を言葉の日と位置づけ、「お話キャッチボール」や詩の暗唱などを行い、コミュニケーション力を高めたり、語彙を増やしたりしていく。  
 ・ICTを活用した授業を進めていく。

【受検者数】

43 名

※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示。